

DX

早わかり Q&A

日常に浸透しつつある「デジタルトランスフォーメーション(DX)」という言葉。あらためて考えてみると、どのような意味を持つのでしょうか。はじめに、その定義やデジタル化の違い、Society 5.0との関係を整理します。

Q1 DXとは？

A Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)の略です。英語圏では、接頭辞“trans-”を“x-”と省略することがあります。

DXは、2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱した「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念です。その後、スマートフォンの登場と普及に代表される急速なデジタル技術の発展によってわれわれの生活は大きく変化し、DXという言葉もビジネス界を中心にさまざまな場面で使われてきました。

Q2 DXとデジタル化の違いは？

経団連が2020年5月に公表した提言「Digital Transformation (DX) ～価値の協創で未来をひらく～」では、DXを「デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革新に向けて産業・組織・個人が大転換を図ること」と定義しました。

A デジタル化による業務改善にとどまらず、DXは社会やビジネスの根本的な変革のことを指します。

「デジタル化」や「DX」という用語は、さまざまな意味で使われており、明確な定義で区別されているわけではありません。DXは、プロセスを単純にデジタルに置き換えて効率化・自動化・省人化を図ることにとどまらず、時に既存概念の破壊を伴いながら新たな価値観を創出する変革を指します。

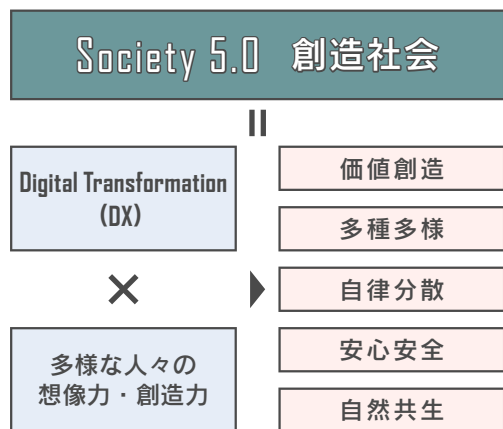
あらゆる産業においてDXによる変革が起きている今、各企業の経営者がDXを経営の最重要課題ととらえて、ビジネスモデルの改革を主導することが重要です。

Q3 Society 5.0とDXの関係は？

A 新たな社会Society 5.0実現のキーワード「イバーナ」が、DXpp。

Society 5.0は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、第5段階目の新たな社会のことです。経団連が2018年に公表した提言「Society 5.0 ～ともに創造する未来～」では、Society 5.0を「デジタル革新(DX)と多様な人々の想像力・創造力の融合によって価値創造と課題解決を図り、自ら創造していく社会(創造社会)」と定義しました。

明るい未来社会を実現するには、社会のあらゆる事象をデータ化し、可視化された課題をデジタル技術の活用で解決するという「DX」の力を活用し、それに多様な人々の想像力と創造力を組み合わせることが欠かせません。



デジタルトランスフォーメーション Digital Transformation (DX)

定義

- デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。
- また、その革新に向けて産業・組織・個人が大転換を図ること。

- | | |
|--|---|
| <p>× 残念なDX</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を用いた業務の単純な改善・効率化・自動化にとどまる ITシステムや技術の問題にとらえて、IT部門や外部に丸投げしている 既存事業や業界の発想から抜けきれない | <p>○ あるべきDX</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織やビジネスモデルの抜本的改革のためにデジタル技術を用いる 経営者が組織経営の最重要課題と認識し改革を主導 外部との協創を進めながら、新たな事業を創り出す |
|--|---|